

学校施設整備基金の廃止について

教育環境整備推進室

1 学校施設整備基金の概要

- 設置の目的：市立学校の施設整備の資金に充てる。
- 設 置 日：平成22年4月1日

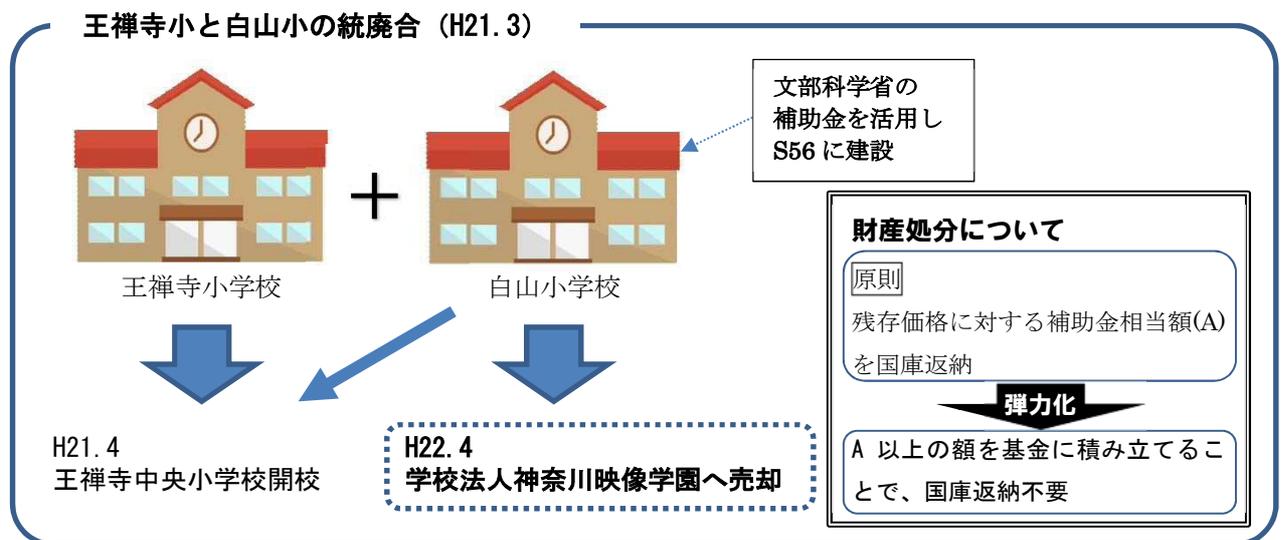
2 設置の経過

児童数の減少に伴い、平成21年3月に白山小学校と王禅寺小学校を統廃合し、4月に旧王禅寺小学校の校舎を引き継ぐ形で王禅寺中央小学校を開校した。この際、旧白山小学校の校舎等の建物は、「市立小中学校跡地活用基本方針」に基づく検討の結果、平成22年4月1日付けで学校法人神奈川映像学園に売却した。

旧白山小学校の建物は、国庫補助を受けて、昭和56年に建設したものである。国庫補助を受けて建設した建物を有償譲渡する場合は、原則として処分する部分の残存価格に対する補助金相当額を国庫に返納する必要がある。

一方で、文部科学省は既存施設の有効活用を推進する観点から、財産処分手続きの弾力化を図っており、国庫補助事業完了後10年以上経過した建物等の有償による財産処分のうち、補助金相当額以上の額を、当該地方公共団体が設置する学校の施設整備に要する経費に充てることを目的とした基金に積立て、適切に運用する場合、国庫返納を不要としている。

旧白山小学校の校舎等の建物については、この制度の条件に当てはまることから、納付すべき補助金相当額以上の額を基金に積立てることにより、国庫返納を行わずに財産処分の承認を受けた。



3 積立額の推移

年度	前年度残高	積立(決算額) ^{※1}	取崩	計(残高)
H22	0	71,327,000	0	71,327,000
H23	71,327,000	412,562	0	71,739,562
H24	71,739,562	549,355	0	72,288,917
H25	72,288,917	538,088	0	72,827,005
H26	72,827,005	585,591	0	73,412,596
H27	73,412,596	614,698	0	74,027,294
H28	74,027,294	582,051	0	74,609,345
H29	74,609,345	570,827	0	75,180,172
H30	75,180,172	481,512	0	75,661,684
R1	75,661,684	^{※2} 909,000	0	76,570,684

※1 平成23年度以降は利子積立のみ（一般財源から、新規の積み増しは行っていない。）

※2 令和元年度の積立は予算額

4 基金の廃止について

学校施設整備基金は、旧白山小学校の校舎等の建物に係る財産処分承認を得る際に、文部科学省が行う弾力的な運用を活用するために設置したものであり、特定の学校施設等を建設するニーズに基づき設置された基金ではない。このため、初年度に国庫納付金相当額を積み立てた後は、運用益の積み増しを行っているのみである。

また、本基金は「川崎市ふるさと納税」の用途メニューの一つとなっているが、これまでに寄附受納実績はなく、あわせて、今年度から設けた「学校ふるさと応援寄附金」制度との重複があり、この点でも必要性は薄れている。

以上のことから、本基金については、令和2年度末に取崩し、効果的な活用を図り、廃止することとする。

5 施行日

令和3年4月1日